

こんにちは **日本共産党** 横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団
横浜市中区本町6-50-10(市役所内)
電話 045-671-3032
FAX 045-641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

不登校特例校から見た「新しい可能性」 子ども一人ひとりに寄り添う教育を横浜でも

鎌倉市・由比ガ浜中学校を視察

11月6日、
日本共産党
横浜市議団5
人は、鎌倉
市が今年4月
に開校した



「不登校特例校(学びの多様化学校)」、鎌倉市立由比ガ浜中学校を視察しました。学校に通うことが難しい、集団生活になじめないなど、さまざまな事情をもつ子どもたちが、安心して自分らしく学べる新しいタイプの公立中学校です。

定員は各学年10人、全体で30人ほど。教員やスクールカウンセラーなど21人がきめ細かく支援しています。登校後に落ち着いて過ごせる「つどいスペース」や、個別・グループ学習ができる「学び場」など、子どものペースに合わせた環境が整えられています。授業も「学年別」を基本にしつつ、状況に応じて「習熟度別」「異学年」「個別」など柔軟に実施。まさに「学校が子どもに合わせる」仕組みが実現していました。また、保護者懇談会や相談体制が充実し、家庭・学校・地域が連携して子どもを支えています。

横浜市でも不登校児童生徒が増える中、鎌倉のように「在籍校への復帰」だけでなく、「自分のペースで学び、社会とつ



ながる力を育てる」教育が求められています。子ども一人ひとりが安心して学べる多様な学びの場づくりを、横浜でも広げていくことがとても重要だと感じました。

大和市・引地台中学校分教室を視察

11月7日
は、大和市
の不登校特
例校の引地
台中学校を



視察しました。2022年4月に開校し、市内在住の中1～中3の生徒を対象に、定員30名（各学年10名）転入学を通じて通級・他校からの受け入れを行っています。

制服・校則を設けず、生徒自身が「つくる・決める・決めつけない学校」をコンセプトに掲げ、「学校らしくない学校」づくりに挑戦しています。登校時間も通常の学校とは異なり、午前3単位、午後1～2単位を基本とし、教育課程を980時間に設定。授業参加は本人の判断に任せるなど、柔軟な運営が特徴です。生徒発案で棚を製作する活動も展開され、体験的・実践的な学びが教科横断で行われています。

この視察を通じて、横浜市においても「学校に行きづらい」「集団生活が難しい」と感じる児童・生徒が安心して学べる場の必要性を再認識しました。生徒一人ひとりのペースや居場所を尊重しながら、社会へつながる力を育む教育環境が整うよう、横浜でも具体的な取り組みが進めるよう、私たちも支えています。

